

穿鑿金^{ニシテ}一^{ニテ}株^ノ大^ニ樹^ト
成^{サバ}天下^ノ人^ノ与^ニ
陰涼^ト作^リ去^ルコト
在^ラン。

午前十時開場

呈茶

法要

論語

齋座

坐禪

論語

午後三時閉場

とき

三月十五日(日)

ところ

資福寺

入場無料

(仙台市青葉区北山二丁目十三の二)

大徳寺

龍光院

こどもの

ための

論語教室

せんせい

安岡定子

(銀座・寺子屋こども論語塾代表)



いつだったか寸松塾で、安岡先生、こども達、そしてお寺がピタリと一つになっている事を実感した時がある。寸松塾が始まって三年もした頃であつたらうか。「あっ！こどもってこんなになれるんだ！」以来、時間というものを信じざるを得なくなった。

今、こども達は論語の内容が何も分からなくても、論語の章句を一つ知っているだけでもものすごく宝。「ウウン！そんな簡単に覚えらんない」いやいや、論語に出てくる漢字一文字だけでもう十二分に宝物なのだ。

日本人は古来、こうやって強い精神世界を築いてきた。論語の中で生活し、論語の中で恋をし、論語を空気のようにして過ごしてきた。そんな時間の積み上げのなかにいる私たちの心は、実はいつの時代も直ぐに論語に帰ることができる。

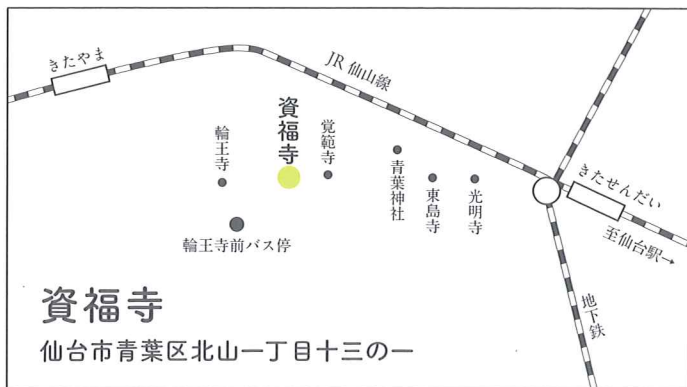
寸松塾の寸松とは「一寸の松」の意。四百年の昔、龍光院のなかにあった庵「寸松庵」にちなんで名付けた。今は一寸の松のように小さいこどもたちが、論語を知ることによって自分自身の力で自分の心を強く豊かにそだて、どんな困難にあっても負けてしまうことなく、いつかは大きな松となり、世のため人のためになつてほしいと願うのである。

龍光院住職 小堀月浦



寸松塾

大徳寺
龍光院



せんせい
安岡定子

(やすおかさだこ／銀座・寺子屋こども論語塾代表)

一九六〇年東京生まれ。二松学舎大学文学部中国文学科卒業。漢学者・安岡正篤の孫。現在「銀座・寺子屋こども論語塾」「斯文会・こども論語塾」「龍光院・寸松塾」をはじめ宮城県塩竈市、茨城県水戸市、宮崎県都市等、全国各地で定例講座は二十五講座に及び、幼いこどもたちやその保護者に『論語』を講義している。